

## 01・六年前にあったこと

### 〈シチュエーション〉

本編の六年前。主人公とうたの当時の関係を表すエピソード。

9月3週目、17時ごろ。うたの自宅、自室。

うたは、この頃にサキュバスとして目覚めた。

本編で言う『目覚めの日』は、この9月3週目に当たる。

この頃のうたは激しい性衝動に振り回され、また、力の抑制も出来なかった。

この日も恋人になったばかりの主人公に乱暴なセックスをしてしまい、絶頂してから我に返って、泣きながら謝っている。

### SE1 外の環境音

【最初から最後まで流す】

【繰り返して流す】

【室内の、開け放した窓から聞こえる】

【0―5秒ほど流してSE2】

SE2 うたが激しく動く音

【最初から最後まで流す】

【背後側から聞こえる】

【▲1 でフェードアウトする】

● 【背後・左耳側】 0センチ

■ 背後にいる。主人公の左耳側から頭を出して左耳に密着している。

自分の尻尾を主人公の膣に挿入するセックスをしている。とても乱暴で、一方的

「【苦しそうな吐息。絶頂が近い。】

荒っぽく、相手への気遣いが欠ける感じ】

はあはあ、はあはあ、はあはあ、はあはあ、はあはあ。

はあはあ、はあはあ。はあはあ。はあはあ。はあはあ。

はあはあ。はあはあっ ♡

はあ、はあ、はあ。はあ、はあ、はあっ ♡

【吐息交じりの喘ぎ。青文字部分で絶頂】

あ ♡

あっ ♡

はあはあ ♡ はあはあ ♡ はあはあ ♡

ああ……ああ

あっ……♡ う♡

……あ！♡

あああああ……♡」

SE3 主人公が乱暴に放り出される音

【最初から最後まで流す】

SE4 うたが乱暴にベッドに座る音

【最初から最後まで流す】

●【背後・正面】 80センチ 上50センチ へ移動

■絶頂して身体を乱暴に離して、ベッドに座る。

主人公はうつ伏せにベッドに倒れていて、それを背後から見下ろす形

「苦しそうな吐息。

『非常に苦しそうだが気持ちよさそう』から、だんだん落ち着いていく』  
はーすーっ、はーすーっ、はーすーっ、はーすーっ、はーすーっ。

はあはあ、はあはあ。

はあはあ、はあはあ、はあはあ、はあはあ。

はあはあ、はあはあ、はあはあ、はあはあ ♡

はあすー、はあすー、はあすー、はーすう。

はあすう、はあすう。はあすう、はあすう……っ。

はー…… ♡ はー…… ♡ はー…… ♡ はーっ…… ♡

■呼吸が落ち着いて、ようやく主人公を見る。自分のしでかした事に気づいて、絶句する

※ほぼ完全に呼吸が落ち着いてから※ 話す

「ハッと我に返って。静かに絶望する」

あっ……。

■主人公の手首を持って話す。自分が付けた手首の傷跡について述べる

「【途端に泣きそうになって、とても申し訳なさそうに、恐る恐る話しかける】

あ あっ……。

ごめん……ね。

痕、ついちゃったね……」

〈主人公〉

「大丈夫だよ……。うちちゃん。気にしないで……。わたしは、大丈夫、だから。落ち着いたみたいで、よかった……」

「泣きそうな声で必死に謝るゝ泣き始める」

ごめん……私……力の加減、ほんとできてなくて……ごめん……。

ごめん……ごめんね……。

ぐすっ。

痛かったよね。ごめんね……。

うううっ。うっ。ううう……。

ひっく、ひっく、ぐすっ……」

〈主人公〉

「泣かないで……」

「【聞き返す】

えっ……?」

〈主人公〉

「大好きだよ……」

■主人公がうつ伏せでぐったりしたまま、顔だけうたに向ける。見つめ合って話す

「【主人公の優しい言葉に、ますます泣いてしまう】

うん……。

うたも大好きだよ……」

SE 4 うたが主人公に触れる音

【最初から最後まで流す】

「こんなに一杯酷い事、してるのに。

そばに居てくれて、ありがとう……っ。

うつ。うつ。ううううつ……」

フェードアウトして終了。